

「とっとり子育て親育ちプログラム」の発刊にあたって

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、家庭は子どもにとって安らぎのある場であると同時に、基本的な生活習慣を身につけ、人格形成やその後の生き方に大きな影響を及ぼす場でもあります。

しかし、近年、少子化や核家族化、地域における人間関係の希薄化など、家庭を取り巻く社会の急激な変化の中で、子育てについて相談する人がおらず、孤立化している親や、子どもへの接し方に自信を失っている親が増加し、家庭の教育力の低下が危惧されています。また、PTA活動や学級懇談の参加者が少ないなど、親同士の結びつきや、学校と家庭との連携が弱くなり、大人たちが子どもたちの育ちをしっかりと支えることが難しくなっています。

そこで、鳥取県では、子どもの育ちと共に親自身も育っていく仕組みをつくるため、親同士が楽しみながら家庭教育について学びあう参加型プログラム「とっとり子育て親育ちプログラム」を作成しました。これは、保育所、幼稚園、小中学校での保護者会、子育てサークルや地域の集まりなどにおいて、親同士が子育ての悩みについて話し合い、子どもとの接し方を振り返り、楽しく交流を深める中で、お互いに支えあえる仲間づくりを進めるものです。

また、このプログラムは、シンプルで誰もが進められるようにしており、県が養成したファシリテータ（進行役）はもとより、PTAの役員や学校の先生も進行できるようになっていますので、いろいろな場面で御活用いただき、家庭の教育力の向上につながることを期待しています。

結びに、本プログラムの開発・作成に御尽力いただいた香川大学生涯学習センター長 清國祐二教授をはじめ、各開発委員の皆様ならびに御協力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます、発刊にあたっての御挨拶といたします。

平成 24 年 2 月

鳥取県教育委員会

教育長 横濱 純一